

# 直近の世論調査から－2020.10.7(高い支持率の菅新内閣発足－しかし早くも…)

## 1. 菅新内閣発足－歴代4位の高い支持率65.0% (不支持19.7%)、しかし早くも不安要素が…

内閣支持率(菅)

9月	支持	不支持
日経9.18	74	17
毎日9.18	64	27
読売9.21	74	14
朝日9.18	65	13
共同9.18	66.4	16.2
時事9.18	46.3	36.5
NHK9.23	62	13
JNN10.5	70.7	24.2
ANN9.21	62.3	16.3
平均	65.0	19.7

### ※9.16菅内閣発足

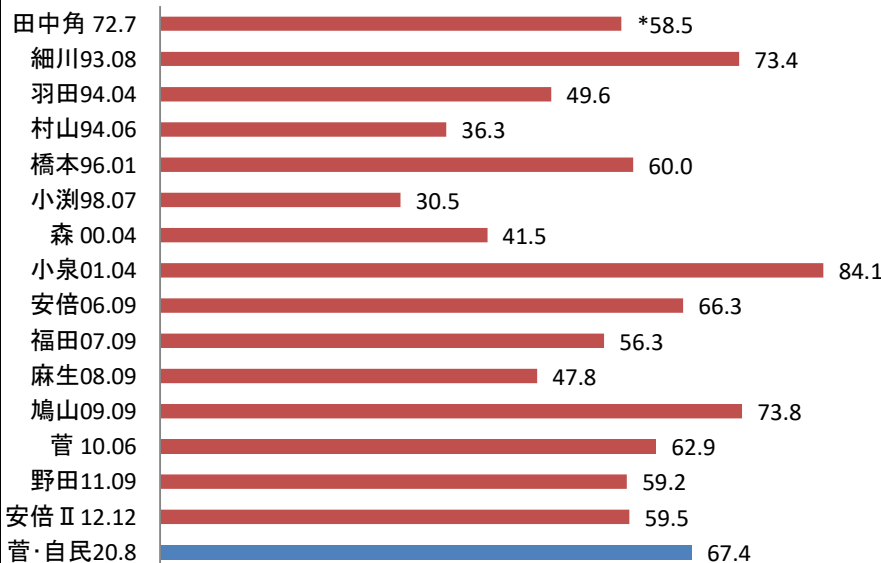
「戦後 55 年体制」と言われた時代では「今太閤」とも言われた初の庶民宰相・田中角栄内閣が 58.5%の高い支持を得てスタートした(但し 3 社平均)。その後では、「自民党をぶっ壊す」として登場した小泉内閣の 84.1%が図抜けて高く、次いで鳩山内閣、細川内閣の非自民連立政権が 73%台で続く。今回の菅政権はこれに継ぐ第 4 位の高さとなる(4 社平均。次図参照)。

②菅新内閣の顔ぶれについても「評価・期待する」が 56.9%とまずまずの高さだ(6 社平均)。菅首相が掲げる「安倍路線の継承」についても、政権発足前はその賛否が 45%と拮抗していたが、発足後調査では路線継承を「評価する」が 58.2%と高くなった。これは政権交代による「大きな変化」を嫌う心理の反映とされているが、「アベノミクス(経済政策)の継承」については継続賛成は 3 割台にとどまり、「見直すべき」が 50%(朝日)、58.9%(共同)と、変化を求めていることが分かる。

菅新政権については「骨太の国家像みたいなものが見えない」との指摘が目立ち、携帯料金

### 歴代内閣の発足直後の支持率(4社平均 1993年～)

※4社(共同・朝日・読売・毎日)



① 9月 16 日発足した菅内閣は旧弊が指摘される派閥総出で作られたにも拘わらず、「苦労人」「たたき上げの庶民宰相」などと大変評判が良かった。菅内閣の発足直後の支持率は左表の通り、“支持 65.0%：不支持 19.7%”と、歴代 4 位(共同・朝日・読売・毎日の 4 社平均)の高さを記録した。新政権発足に際しては「ご祝儀相場」とも言われるように、高い支持率を記録することは珍しくはない。とくに前政権が不評だった時には、なおさらその反動として支持が急上昇する傾向がある。

これを歴代内閣で比較してみると、

### 9.16発足菅新内閣の顔ぶれについて

	評価・期待する	評価しない
日経9.18	54	26
共同9.18	49.2	40.6
朝日9.18	58	24
読売9.21	62	27
ANN9.21	57	20
NHK9.23	61	29
平均	56.9	27.8

### 次の首相が安倍路線継承の賛否

	継続に期待	反対・変化を
4社平均	45.0	45.0

### 菅首相は安倍首相の路線継承する

	評価する	評価しない
共同9.18	58.7	32.4
読売9.21	63	25
NHK9.23	53	38
平均	58.2	31.8

### 新首相はアベノミクスの継続は?

	継続を	見直すべき
共同9.9	33.3	58.9

### 菅首相は安倍首相の経済政策を

	継承賛成	見直すべき
朝日9.18	37	50

「4 割値下げ」、デジタル庁の設立、不妊治療への保険適用など、今のところ個別テーマの目玉政策だけだ。

③こうした中で突如出てきたのが日本学術会議が推薦した会員候補 6 人の任命を菅首相が拒んだという問題だ。この 6 名は安保法制や共謀罪などに批判的だった人だ。日本学術会議だけでなく「学問の自由への不当介入」との批判は拡がり、日本科学者会議や全

**歴代内閣発足直後の支持率(支持/不支持)**

非自民系

	共同	朝日	読売	毎日	4社平均
田中角 72.7	-/-	62/10	60.5/9.1	53/13	*58.5/10.7
細川93.08	75.7/12.7	71/12	71.9/13.2	75/9	73.4/11.7
羽田94.04	51.6/31.3	47/32	56.8/25.0	43/23	49.6/27.8
村山94.06	33.2/52.1	35/43	37.0/44.0	40/31	36.3/42.5
橋本96.01	63.0/29.2	61/20	56.9/25.6	59/16	60.0/22.7
小淵98.07	31.9/59.3	32/47	33.1/52.0	25/48	30.5/51.6
森 00.04	42.9/25.4	41/26	41.9/36.1	40/24	41.5/27.9
小泉01.04	86.3/6.0	78/8	87.1/6.1	85/5	84.1/6.3
安倍06.09	65.0/16.2	63/18	70.3/14.2	67/16	66.3/16.1
福田07.09	57.8/25.6	53/27	57.5/27.3	57/25	56.3/26.2
麻生08.09	48.6/32.9	48/36	49.5/33.4	45/26	47.8/32.1
鳩山09.09	72.0/13.1	71/14	75/17	77/13	73.8/14.3
菅 10.06	61.5/25.2	60/20	64/25	66/18	62.9/22.1
野田 11.09	62.8/18.1	53/18	65/19	56/14	59.2/17.8
安倍Ⅱ 12.12	62.0/21.8	59/24	65/27	52/26	59.5/24.7
菅 20.8	66.4/16.2	65/13	74/14	64/27	67.4/17.6

国の大学学長・教授・職員、著名な映画監督らからの強い反発を招き、発足から間もない政権は早くも火種を抱えることになっている。

JNN の調査では、今回の「学者 6 名の任命見送り」については、「妥当だ」とする人は 24%に過ぎず、「妥当ではない」が 51%となっている。問題が発覚してすぐの調査で、このような国民世論の反応が出ていることについては、今春の黒川検事長の定年延長問題（1 月 31 日に閣議決定、5 月 22 日引責辞任で決着）が想起されるし、世論調査から見える反応としても、同様の結末が見えるようである。

「人事で法治を変えた」と言われた安倍政権下で、菅首相は、かつて官房長官として強大な人事権を行使して中央省庁を掌握してきた従来の手法を継続する意思を示した形だ。しかし安倍政権の「森友・加計・桜の会」問題は、新政権下の現在でも「再調査が必要だ」との声が 6 割近くに達している。

**森友・加計・桜の会問題の解明は**

	再調査を	必要ない
共同9.18	62.2	31.7
朝日9.18	54	36
平均	58.1	33.9

政権下で、菅首相は、かつて官房長官として強大な人事権を行使して中央省庁を掌握してきた従来の手法を継続する意思を示した形だ。しかし安倍政権の「森友・加計・桜の会」問題は、新政権下の現在でも「再調査が必要だ」との声が 6 割近くに達している。

**日本学術会議の学者6人任命見送り**

	妥当だ	妥当でない
JNN10.5	24	51

**『桜を見る会』の再調査は必要か**

	必要と思う	思わない
ANN9.21	57	34

**黒川検事長の定年延長に**

	肯定的	否定的
ANN2.17	21	56
日経2.24	32	54
平均	26.5	55.0

今回の任命拒否については、与党・政権内からも批判的言辭が囁かれる事態になってきており、早くも、高支持率でスタートした菅政権の足元を揺るがす可能性(不安要素)が指摘され始めた。

**2. 自民党支持も10%アップ。新立憲民主党への期待は33%。次衆院選で「自民党へ」48%！？**

④先月のレポートでも、安倍首相の辞任表明を前後して、自民党の支持率が平均 10%余り上昇したことを紹介したが、9 月のまとめでは自民党支持率は 45.9%で前月比 9.7%増を記録した。

**政党支持率**

※9.16管内閣発足

9月	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	N国	支持なし
日経9.18	52	7	1	4	3	1	3	1	0	24
毎日9.18	44	12	1	4	5	0	8	2	1	22
読売9.21	47	4	1	3	2	0	2	0	0	37
朝日9.18	41	6	1	3	2	0	2	0	0	38
共同9.18	47.8	7.0	1.2	3.4	4.0	0.7	4.7	0.6	0.7	28.0
時事9.18										
NHK9.23	40.8	6.2	0.1	3.0	1.7	0.4	1.1	0.2	0.1	40.0
JNN10.5	40.7	4.5	0.4	4.0	2.4	0.4	1.9	0.3	0.0	40.8
ANN9.21	53.9	9.1	0.7	3.5	3.0	0.3	2.5	0.1	0.1	25.5
平均	45.9	7.0	0.8	3.5	2.9	0.4	3.2	0.5	0.2	31.9
8月平均	36.2	6.1	1.2	3.6	3.0	0.4	4.4	0.9	0.2	40.3
前月比	9.7	0.8	-0.4	-0.1	-0.1	-0.1	-1.2	-0.3	0.1	-8.4

が、9 月のまとめでは自民党支持率は 45.9%で前月比 9.7%増を記録した。

※ただし今回は時事の数値が明らかになっていないので、もう少し下がるかも知れない。

立憲や維新、れいわを含めた野党の支持率には大きな変化

**立憲と国民の合同新党結成について**

	評価する	評価しない
JNN9.7	30	62
読売9.7	36	58
平均	33.0	60.0

**新立憲民主党に期待するか**

	期待する	期待しない
時事9.18	24.2	58.8
共同9.18	36.9	55.8
朝日9.18	37	52
ANN9.21	36	54
NHK9.23	32	60
平均	33.2	56.1

はない。とくに新・立憲民主党は 9 月 15 日に結成したものの、菅政権発足の影に隠れてしまった感じで、ほとんど新党結成の効果は見られなかった。世論からの期待も、結成の前後でほとんど変化が見られず「期待・評価する」は 33%程度に収まった。

**新立憲民主党の枝野代表に**

	期待する	期待しない
日経9.18	44	47

こうした野党の態勢遅れの状況を見て、自民党内では「早期解散で圧勝を」論が強まり、「10 月解散・12 月総選挙」などの声が

強まってきていた。

しかし 9 月の調査では、新型コロナ対策での菅首相の指導性に「期待する」との声が 68.0%と高く（「期待しない」 20.5%。朝日・毎日）、「早期の衆議院解散」（19%）よりも「コロナ対策優先を」（72%）という世論の期待（毎日 9.18）、「経済活動重視」（26%）よりも「感染拡大防止の重視を」（56%。読売 9.7）という世論の大勢がある。

首相自身も「仕事優先の内閣」という建前を主張していたことと、今回の日本学術会議の任命拒否問題も重なって「まずは実績を作ってから」と解散・総選挙を遠ざける効果を強めそうだ。⑤ちなみに「衆議院の解散総選挙は何時が良いか」を聞いた設問では、9 月は 8 社が同種の調査をしているが、「任期満了またはその頃が良い」とする回答は 8 社平均して 53.4%にのぼっていた。

同時に調査されている「次の衆院選挙で投票する政党（または比例政党）は？」の設問は、今回は一斉に 6 社が調査を行った。「自民党へ」は実に 48.4%にも達しているが（朝日 7.20 調査では 35%だった）、こうした数字は、いくら「ご祝儀」相場でも、過去に例を見ない高い数値で

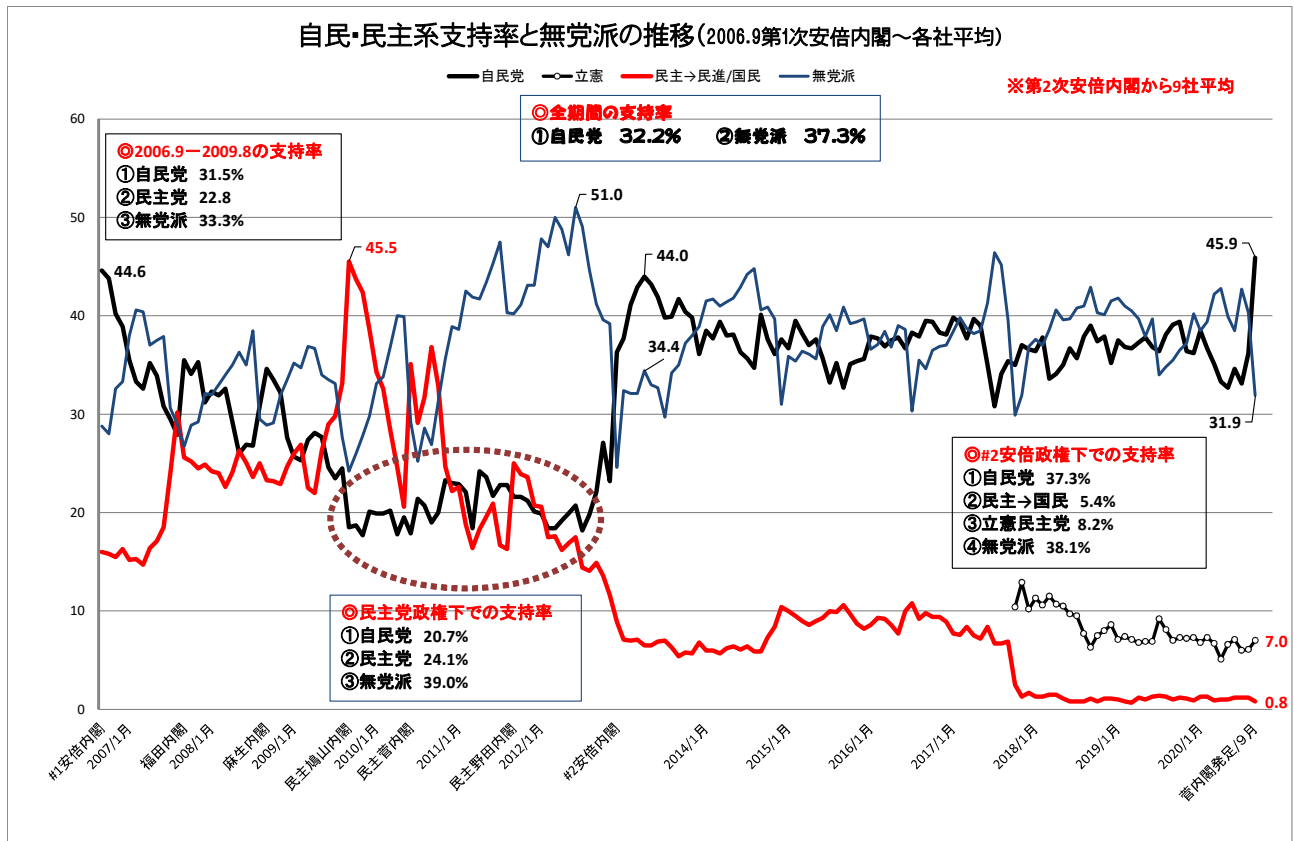
**衆院選での政党(比例代表)の投票は(2020.9)**

	自民	立憲	国民	公明	共産	社民	維新	れいわ	N国	NADK他
共同9.18	44.4	9.0	1.2	5.9	4.5	0.6	6.1	1.8	0.7	
朝日9.18	48	12	1	6	4	1	8	2	1	9
日経9.18	54	10	1	4	2	1	6	2	1	18
毎日9.18	44	15	1	4	5	0	8	3	1	10
読売9.21	55	8	1	6	3	0	6	0	0	
ANN9.21	45.1	11.9	0.8	4.3	3.0	0.3	2.9	0.2	0.0	3.5
平均	48.4	11.0	1.0	5.0	3.6	0.5	6.2	1.5	0.6	10.1
朝日7.20	35	13	3	6	5	2	10	2	2	21

ある。新立憲は平均比で 7 月朝日調査より 2%下がって 11.0%。維新もれいわも他の野党もおしなべて芳しくない。

⑥しかし複数の政治ジャーナリストがまとめた総選挙情勢の予測（週刊誌）では、自民党は解散時より「議席を減らす」というもののようだ。「自民党単独過半数は維持するものの、圧勝にはほど遠い」というものだ（▼ 11 議席から▼ 24 議席減の予測）。背景には、やはり何と言っても

**自民・民主系支持率と無党派の推移(2006.9第1次安倍内閣～各社平均)**



「150議席を確保した新立憲民主党」と野党共闘への脅威があるからだ。

数値的には、過去2回(#47回・#48回)の総選挙では、自民党は小選挙区で「48%の得票で75%の議席を確保してきた」という実態があり、野党共闘が順調に進めば、こうしたおまげがもらえなくなるからだ。

⑦前ページに図「自民・民主系支持率と無党派の推移」を紹介した。今回は詳しくコメントは出来ないが、特徴的に言えることは、

- (1) 自民党の岩盤支持層は20%…民主党政権下で、戦後政権政党として君臨してきたことによる「厚み」(政権与党であるところによる支持)がはがされた。第2次安倍政権下で安定して平均40%弱の支持に。初めて政権を失った細川連立政権に続く数年間の自民党支持率は、平均で約30%だった(共同で平均29.0%)。
- (2) 旧民主党系の岩盤支持層は10%程度…政権期には平均24%の厚みを持てたが、政権崩壊後は、旧民進、希望、立憲と国民を塊と見て合わせても10%程度。その他の野党をザクッと足して平均化してしまえば、これも10%程度に。
- (3) 無党派は民主党政権の崩壊(幻滅)にともない、平均で約40%に上昇…民主党政権末期には51%に達した。自民党政権の復活で、このうち10%程度が再吸収された形。古くは93年の細川連立政権の崩壊で上昇して30%程度に上昇していた(それ以前は20%程度だった)。
- (4) 新立憲など野党が、新たな政権交代を勝ち取るということは、この大きな構造に手を加え直すことが出来るかどうか。そういう変化を作る闘いとドラマを生み出せるかにある。

### 3. その他…以上で紹介できなかったものを掲載

#### 菅首相の今回の人事は

	適材適所	派閥人事だ
読売9.21	24	61

#### 加藤官房長官の起用について

	評価・期待する	評価しない
日経9.18	52	24
毎日9.18	39	29
ANN9.21	51	28
平均	47.3	27.0

#### 河野行革担当相の起用に期待する

	期待する	期待しない
毎日9.18	76	13
読売9.21	77	12
ANN9.21	76	13
平均	76.3	12.7

#### 麻生副総理兼財務相の起用に

	期待する	期待しない
毎日9.18	34	54
読売9.21	39	53
平均	36.5	53.5

#### 二階幹事長の起用に

	期待する	期待しない
毎日9.18	21	56

#### 石破氏は要職に起用されなかったが

	妥当だ	問題だ
毎日9.18	40	38

#### デジタル庁の創設について

	賛成	反対
日経9.18	78	9

#### 新型コロナ政府の対応をどう評価

	評価する	評価しない
JNN9.7	46	46
時事9.18	36.0	42.0
NHK9.23	51	41
平均	44.3	43.0

#### GOTOトラベル事業－継続について

	続けるべき	中止すべき
JNN9.7	35	56
ANN9.21	44	40
平均	39.5	48.0

#### 新型コロナ感染拡大への不安は

	不安ある	ない
NHK9.23	76	17

#### 消費税の扱いはどうする？

毎日9.18	①現在の税率を維持 45
	②景気対策のため引き下げを 41
	③社会保障のため引き上げを 9
毎日9.18	①経済対策 24
	②コロナ対策 21 ③首相の政治姿勢 19
	④社会保障政策 17 ⑤外交安全保障 9

#### 安倍政権からの変化を望む政策は

毎日9.18	①経済対策 24
	②コロナ対策 21 ③首相の政治姿勢 19
	④社会保障政策 17 ⑤外交安全保障 9

#### 菅政権で優先してほしい政策は

日経9.18	①新型コロナ対策 58
	②景気回復 42 ③年金医療介護 37
	④子育て・少子化対策 28 ⑤財政再建 25
	⑥外交安全保障/地域活性化 22
	⑧防災 17 ⑨社会のデジタル化 14
	⑩行政・規制改革 12 ⑪憲法改正 6
共同9.18	①新型コロナ対策 64.1
	②景気・雇用 35.2 ③年金医療介護 23.8
	④財政再建 18.4 ⑤子育て・少子化 17.1
	⑥外交安全保障 11.7
	⑧震災復興/防災 5.7 ⑨省庁改革 4.5
	⑩憲法改正 3.1
ANN9.21	①新型コロナ対策 26
	②経済政策 23 ③年金・社会保障 15
	④教育子育て 10 ⑤外交安全保障 8
	⑥消費税見直し 6 ⑦財政再建 4
	⑧原子力政策 2 ⑨憲法改正 1
NHK9.23	①新型コロナ対策 25
	②経済対策 20 ③社会保障 17
	④政治不信の解消 14 ⑤規制改革 9
	⑥外交安全保障 7
	安倍首相の政策で評価するものは？
朝日9.4	①外交・安全保障 30
	②経済 24 ③社会保障 14
	④憲法改正 5
	⑤評価するものはない 22
NHK9.23	①外交・安全保障 28
	②経済対策/働き方改革 15
	④少子化子育て 10 ⑤消費税引き上げ 7
	⑥社会保障 6

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

(北海道世論調査会まとめ)